

## 事業計画書

事業名	まちなのぷらっと相談室 『まちなのぷらっと無料相談会』
実施場所	沼津市大岡1972-6 他
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2019年 4月 1日 ~ 2020年 3月 31日

## ◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

ファイナンシャルプランナーや行政書士や他士業・専門家の連携任意団体「まちなのぷらっと相談室」で月1度以上のイベントと無料相談会を開催します。何かやりたいけど何からやればいいかわからない方や、どこに相談すればよいかかわからない方のサポートをより身近に行う活動です。

## ◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

創業、移住、相続等の相談を一度に行いたいときに、どこへ相談すればよいかかわからない方は多いと思います。また、弁護士事務所等の専門機関は気軽に相談に行きにくいと考える方が多く、せっかく相談に出向いても部署をたらい回しにされること等があり、相談者は労力を使うこととなります。

そこで、士業・専門家の連携任意団体「まちなのぷらっと相談室」が、創業時・（沼津市への）移住検討時・相続対策などが起こり得る方に向けた、課題解決のためのイベントや無料相談会を企画し、専門家として課題解決の手助けをします。連携する専門家の得意分野により、創業支援・移住・相続を無料相談の対象とし、「専門家が集まる敷居の低い相談所」として気軽に相談出来る場所をつくります。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
2019. 4. 1 ～	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>検討委員会 「告知フライヤ作成」会議 全4回予定 場所：沼津市大岡1972-6 内容：告知資料作成打合せ</p> <p>イベント 「まちのぷらっと無料相談会」 場所：沼津市大岡1972-6 場所：沼津市町方町70 他 市内チャレンジオフィスなどを検討中 内容：創業支援・移住・相続の分野で初心者向けのイベント開催。 開催頻度：月1回程度。期間中12回を予定。</p> <p>イベント参加対象： 各分野で何かをやり始めたい・相談したい人 創業支援分野：3年以内に創業を考えている人 移住分野：Uターンを考えている人 相続分野：アパートや不動産をお持ちで対策を考えている大家さん</p>

◎事業効果

<p>※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。</p> <p>フォローアップすることを考え毎回参加予定者は5名程度を予定。 計12回の内訳（創業8回、移住1回、相続3回） 創業…創業者の創出 参加予定40名 10% 4名独立開業者目標 移住…沼津への移住者促進 参加予定5名 1名以上の移住者確保目標 相続…空き家の利活用推進 参加予定15名 1物件以上のリノベ手法を用いた物件活用</p>			
成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p> <p>上記の通り</p>	指標の 検証方法	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p> <p>案件化した数で評価</p>

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>市民にとって気軽に相談できる専門家の存在は心強く、「まちのぷらっと相談室」がもつ専門家のネットワーク活用することで、幅広い相談に対しても、他の専門家へ即時につながることが可能となります。</p> <p>また、沼津市の課題事項である、創業支援・移住支援・空き家対策に対し、何かをはじめたいと考える相談者の一歩を後押しすることで、沼津市のまちづくり活動等に新たに関わる人の掘り起こしにも繋がると考えます。</p> <p>沼津市役所と連携しながら民間として出来ることを公民連携の形で実現化することはまちの活性化につながり、そこから雇用・人口流入・空き家対策という公共性の高い課題を解決するために必要不可欠と考えます。</p>
--------------------------	---

地域性	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>沼津市は昨今の不況により空き家率が高いため、創業者や移住者の活動の拠点を作りやすい傾向にあると考えています。</p> <p>商店街の空き家や海沿いの空き家物件の情報を集められれば、本事業はその利用促進に寄与する可能性があります。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>専門家や土業の横のつながりを形式的で無く“同じ仲間”で行うことにより、それぞれの分野を超える可能性を有しています。単なる言葉だけでない専門家連携を目指し、尚且つ相談しやすい環境を作る役目を担えると認識しています。</p>
発展性 ・ 継続性	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>取り組みの中で連携を模索するさらなる専門家が出てくることにより、相談しやすいというキーワードを共有した連携の幅が広がると思います。まずは街に認識されて関係人口を広げるように市役所主催イベントとも連携して認知度をあげることが重要と考えます。</p>
実現性 ・ 妥当性	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>まずは「気軽な相談所」を目指すため、相談料は無料としました。フォローアップの必要性を考え、一回の相談受付人数を5名程度までとする代わりに、毎月継続して開催することで、認知度を上げ、密度の濃い相談会が可能となります。</p>
活動に対する 熱意	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>構成員は30～40代と年齢が近く、共に市民やまちのことを考え、専門家同士でさらに学び合うことで、仲間意識と繋がりを紡いでいくことができます。</p> <p>その仲間意識や繋がりが、新たな専門家を巻き込み、連携の幅が広がっていきます。</p> <p>創業や移住の相談は、その人の人生を左右する決断に直面することとなると思います。どのような相談相手にも、土業連携の特性を活かしながら真剣に取り組んで参りたいと思います。</p>

### ◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。